

市民助け合いネット

第11号

仲間通信

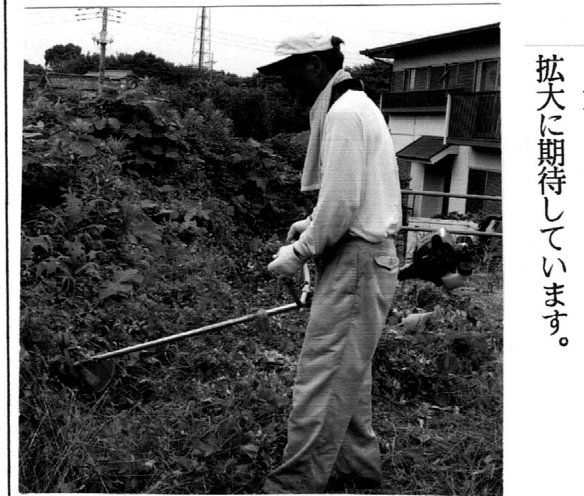
発行
 NPO法人—
市民助け合いネット
 代表 片岡 興—
 〒270-0121 流山市西初石4-370-93
 ☎・FAX 04-7153-5733

第16回 流山ロードレース大会

2007年10月7日(日) 雨天決行

会場 流山市生涯学習センター(流山セントラルパーク駅前)

秋葉原駅 → 30分 → 流山セントラルパーク駅 → 25分 → つくば駅
 ※40分



「市民助け合いネット」新業務へ

業務拡張で収益確保

行政事業のアウトソーシング 市役所の業務を受託

「市民助け合いネット」では、個人の会員相互の助け合いをベースに、拡大を続けていますが、このたび、会の財政基盤強化を目的に、当会の目的のひとつである「団体」への支援活動を始めました。その手始めに市役所の業務のなかで次の三つの業務について「業務受託契約」を締結しました。

- ①成人式の企画運営
- ②流山ロードレース大会の企画運営
- ③小学生など対象の交通安全教室

これは、流山市の行財政改革の一環として行われた十三業務のアウトソーシング(外注)の中の一部を受託したもので、『行政との協働』にあたり、市役所(行政)のコストダウンに寄与し、同時に当会の収益確保にもなり財政基盤の強化が図れます。当会では、受託した各業務ことに四〜五名のプロジェクトチームを作つて対応することになっています。

企画運営を行う「ロードレース大会」のポスター

スタートした交通安全教室

空き地の草刈り業務が始まりました。 「登録草刈り事業者」に

「市民助け合いネット」が流山市の「登録草刈り事業者」になり、「空き地の草刈り」の業務が始まりました。これは、市内の住宅地にある空き地の管理を、市が不在地主に促し、地主自身ができないとき、市内の登録草刈り事業者(企業やNPO)を市が地主に紹介するもので、市が価格を設定して事業者を募集し、「市民助け合いネット」と他2団体が応募して登録事業者となりました。

既に七月初めから紹介が始まり、七月二十三日現在三カ所の紹介を受けています。当会では、草刈りチームを五班編成して対応していますが、雨天続きやすごい草にてこずって作業が進まないなど、やや順調とは言えないスタートですが、現在約半分の一七カ所が完了しており、八月初旬には終了する予定です。

この業務も、当会の安定的収益確保に大きく寄与するものとして、今後の拡大に期待しています。

少しハードかな? 空き地の草刈り

「高齢社会白書」が「市民助け合いネット」を紹介

さる二月二十三日に内閣府が発行する平成十九年度版『高齢社会白書』に、「市民助け合いネット」の活動を紹介しますための取材があったことは、前号でお知らせしましたが、このたび、同白書が発行され、私たちの活動が大きく掲載されました。

『白書』では、第一章「わが国の高齢化の状況」のなかで、各種分析データを掲載したあと、高齢化が進む現在、全国各地で取り組まれているさまざまな市民活動の一〇事例のひとつとして、流山市の「市民助け合いネット」が紹介されていました。

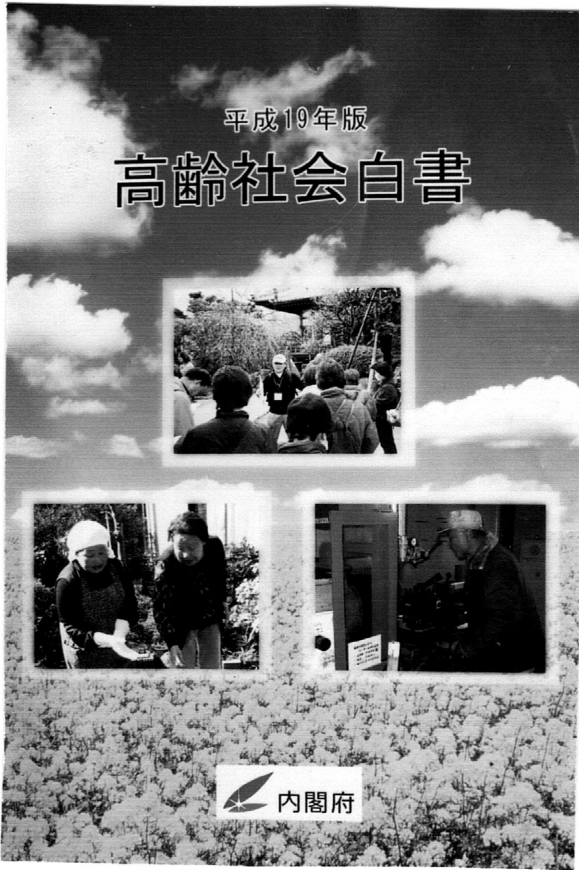
当会の記事は、「高齢者が高齢者に日常的な支援を提供している取組の事例」として、2ページにわたり掲載、高齢者宅の除草を行っている写真が添えられていました。

記事の内容は、「助け合い」の仕組みや当会の基本的な考え方、そして、取材した利用者(三人)の感謝の言葉と、提供者(三人)からの喜びの感想も載せています。

当会以外の事例としては、「企業で働く高齢者」「高齢者の創業」「ボランティア観光ガイド」や「子育て支援」などがあります。

「市民助け合いネット」の活動が、先の読売新聞の紹介記事に続いて、今回の政府発行の『白書』(公文書)に掲載されるということは、私たちが展開している「助け合い活動」の社会貢献が高く評価されている証しです。

この喜びを会員みんなで分かち合い、高齢化がますます進むこれからに向けて、一層励んでいきましょう。



内閣府発行の『高齢社会白書』の表紙

「二〇〇七」 過分の「寄付をいただきました。」

当会の初期からの会員で、外出支援をご利用されている染合鷹治様(江戸川台)から、当会の資金難を気にかけていただき、十万円のご寄付を頂戴しました。「活動資金に……」という温かいお気持ちを感じがたくいただきました。活動の輪が広がるように配慮しながら活かしていきます。

ありがとうございました。

「提供会員」大募集中!

「市民助け合いネット」では、緊急に提供会員を募集しています。

利用件数急増・業務拡大 提供会員が不足しています。

新年度に入ってから、利用件数が前年比一・八倍と急激に増え、背景に、高齢者の増加と公的介護保険制度の運用が、法改定で厳しくなったことが挙げられます。更に、前ページに掲載した市役所の業務受託などの新業務が加わり、提供会員が不足してきました。

「市民助け合いネット」では、各種ルートによる会員募集活動を進めていきますが、会員の皆様のところでも、趣味の仲間や友人知人など、私たちの活動に参加していただける人を、一人でも多く、ぜひともお誘い下さい。

私たちの存在が認められ、活動の輪が広がるのは嬉しいことですが、支援要請に確実に対応する責任も増します。皆様のご協力をお願いします。